科目名	小児看護学特講Ⅱ	分野・必選別・単位数	専門科目 (小児看護学)	選択必修	2単位

担当教員	◎教授　石舘美弥子						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義

授業の概要	子どもと家族に関する援助方法や実践的な視点から国内外の研究論文を精読し、現状と課題を分析する。自己の関心領域における子どもと家族の健康問題および援助のあり方を検討する。
授業の到達目標	1. 研究論文における研究目的を理解し、研究課題の意義を説明できる。 2. 研究デザイン、分析方法が理解でき、その妥当性と信頼性について説明できる。 3. 自己の研究疑問に基づき文献検討を行うことができる。

授業計画

回数	担当者		行動目標
1	石舘美弥子	教　授	講義概説を受け、科目目標・授業計画について説明できる。 自己の課題を確認し、今後の学習計画を立案できる。
2	石舘美弥子	教　授	自己の研究課題に関連した文献を精読し、先行文献を概観できる。(1)
3	石舘美弥子	教　授	自己の研究課題に関連した文献を精読し、先行文献を概観できる。(2)
4	石舘美弥子	教　授	調査研究の研究論文を選択できる。
5	石舘美弥子	教　授	調査研究の研究論文をクリティークできる。
6	石舘美弥子	教　授	実験研究の研究論文を選択できる。
7	石舘美弥子	教　授	実験研究の研究論文をクリティークできる。
8	石舘美弥子	教　授	研究分析における測定用具の妥当性・信頼性について説明できる。
9	石舘美弥子	教　授	事例研究の研究論文を選択できる。
10	石舘美弥子	教　授	事例研究の研究論文をクリティークできる。
11	石舘美弥子	教　授	小児看護学研究の学術集会に参加し、自己の研究課題について説明できる。(1)
12	石舘美弥子	教　授	小児看護学研究の学術集会に参加し、自己の研究課題について説明できる。(2)
13	石舘美弥子	教　授	自己の研究疑問に基づき文献レビューを作成できる。(1)
14	石舘美弥子	教　授	自己の研究疑問に基づき文献レビューを作成できる。(2)
15	石舘美弥子	教　授	文献レビューをまとめ、自己の研究テーマについて今後の取り組みを説明できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておく。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておく。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予習・復習が必要である。

教科書	必要時適宜提示する。
参考書	必要時適宜提示する。
成績評価の方法および基準	課題レポート 60%、プレゼンテーション・質疑応答 40%
その他履修上の注意事項	担当教員と積極的にコンタクトをとり、授業への主体的な参加を望む。 課題レポートなどに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。